

## 【四日市港】

日時：(第1回)平成23年9月29日(木) 10時00分～11時30分 …(○)

(第2回)平成23年11月29日(火) 9時00分～10時30分 …(●)

構成員：(座長)四日市港振興会会長、(自治体)三重県、四日市市、川越町

(経済団体・企業)四日市港運協会、四日市商工会議所、本田技研工業(株)、中部電力(株)、  
三菱化学(株)、昭和四日市石油(株)、コスモ石油(株)、東ソー(株)

(関係行政機関)四日市港管理組合、四日市海上保安部

(事務局)中部地方整備局

## 四日市港検討会議 構成員からの主な発言内容

### 1. 地震・津波対策の現状について

- 四日市港震地区には、就労関係者1万人。避難する場合には霞大橋1本しかなく課題。【民間】
- 岸壁(W15)の耐震化や、護岸の液状化対策を実施中。【自治体】
- M9に対応した津波ハザードマップを作成中。【自治体】
- 堤内への浸水を懸念。堤内地に避難ビルを指定。【自治体】
- 本日、津波避難マップ(暫定版)を公表・配布。【自治体】
- 地盤が低く、過去にも災害を受けてきた。また、護岸の老朽化・空洞化も確認されている。【自治体】

### 2. 今後の地震・津波対策について

- 人の命が一番。
- 災害時に対応できるように臨港道路(霞4号幹線)や(コンテナ輸送の)耐震岸壁の整備を要望。【民間】
- 中央防災会議の検討を注視している。【民間】
- 中央防災会議の結果により整備のあり方を見直していく。【自治体】
- 第一に人命。次に緊急物資輸送手段の確保。さらには、名古屋港との連携を踏まえたBCP策定が必要。【民間】
- 臨港道路(霞4号幹線)の整備促進や(コンテナ輸送の)耐震岸壁の整備を要望。【民間】
- 護岸老朽化対策と液状化対策について特に期待。【自治体】
- 津波シミュレーションは各種実施し情報提供を。その中で最悪を想定し、対応を検討する。【自治体】

### 3. その他

- 次回(第2回)会議では、各企業の防災対策や港湾・海岸整備に対する要望について紹介予定。  
※各企業へアンケートを実施。
- 基本方針について、構成員よりご意見を賜り、第3回検討会議にて最終案を提示。